

農場からの便り - 中川農場 vol.2

「小麦の栽培方法と心がけていること」

(リクエスト [有機栽培と自然栽培の違いは?] より)

有機栽培 (ビオ、オーガニック) と一口に言っても、地域や生産者ごとに多様な栽培方法があり、それらは品質や風味に影響を及ぼします。

栽培方法の違いは「植物が育つための肥料分」で区別できます。

有機栽培 (ビオ、オーガニック) の基本型

- ・ 動物性有機型 - 鶏・豚・牛など家畜の厩肥が主な肥料分。
一般的な有機栽培はこちらです。
- ・ 植物性有機型 - 畑を休ませる休憩時の草が主な肥料分。
米ぬかや油粕は高価でありあまり使えないはず。
- ・ 無施肥型 - 無施肥。前作の残渣 (植物性) が肥料分。
一般的な自然栽培はこちらです。

ちなみに慣行農法は、

- ・ 無機型 - 無機質窒素が主な肥料分。

よく見かける「無肥料の自然栽培」は植物性有機型の少肥タイプですので、動物性有機型の「一般的な有機栽培」とは肥料分がかなり異なるのが一目瞭然で、当然ながら品質も風味にも違いが出ます。

(※実際には組み合わせる事の方が多いです。参考までにどうぞ。)



「小麦は肥で育つ」と言われているように、特に現代の小麦は多くの肥料を要求しますので、一般的な有機栽培では、入手しやすく価格の安い動物性有機質 (家畜の厩肥) を多く施します。無施肥型では風味がクリアになりますが、持ち出し (収穫) のみでは地力が低下してしまいます。

休憩 (ヘアリーベッチ)

うちの農場では植物性有機型として休憩緑肥を多く取り入れたり、小麦と一緒にクローバーを蒔いたりして、永続的に高品質で風味豊かな農産物を生産できるよう工夫を重ねています。地力を自然回復するため多く休憩しますので、その間は大きな花畑を眺めて楽しんでいます。



休憩 (シロカラシ)



間作 (クローバー)

農場の紹介



北海道十勝



創業 88 年



生産物

- ・ パン用小麦
- ・ 大豆
- ・ 小豆

全圃場にて

有機 JAS 取得

「農産物をどう見るか」は人によって様々ですが、人に良い糧として見るなら自然であるべき姿を必ず意識しますし、自然に目を向けそれに見習うよう心がけるように誰もがなります。そこから一歩進めて心を癒す糧として見る事が出来るなら、今よりもっと違った光景が見えるかもしれません。最後、書ききれず小さな字になってしまいましたが、いつもご理解とご支援ありがとうございます。